

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年1月18日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
運用方法	①主として、マザーファンド受益証券に投資します。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	



PICTET

ピクテ・バイオ医薬品 ファンド(1年決算型) 為替ヘッジなしコース

運用報告書(全体版)

第8期

決算日：2024年4月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)為替ヘッジなしコース」は、2024年4月15日に第8期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		参考指数	株組入比率	純資産額
		税込 分配 金	騰落 中率			
	円	円	%		%	百万円
4期(2020年4月13日)	10,767	0	△ 2.8	11,947	△ 0.8	99.1 2,828
5期(2021年4月13日)	13,324	0	23.7	15,563	30.3	99.2 3,024
6期(2022年4月13日)	14,926	0	12.0	16,133	3.7	99.2 2,750
7期(2023年4月13日)	16,354	0	9.6	17,126	6.2	98.2 8,631
8期(2024年4月15日)	17,242	0	5.4	19,858	16.0	99.4 11,340

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2017年1月18日)を10,000として指数化したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	株組入比率
	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2023年4月13日	16,354	—	17,126	98.2
4月末	16,224	△ 0.8	17,199	97.2
5月末	16,210	△ 0.9	17,464	99.6
6月末	16,721	2.2	18,079	99.1
7月末	16,671	1.9	17,975	99.9
8月末	17,356	6.1	18,717	99.6
9月末	16,920	3.5	18,327	99.3
10月末	15,713	△ 3.9	16,961	98.5
11月末	15,975	△ 2.3	17,318	99.1
12月末	17,459	6.8	19,283	99.6
2024年1月末	17,979	9.9	20,227	99.8
2月末	18,440	12.8	21,017	99.8
3月末	17,995	10.0	20,690	100.0
(期末)				
2024年4月15日	17,242	5.4	19,858	99.4

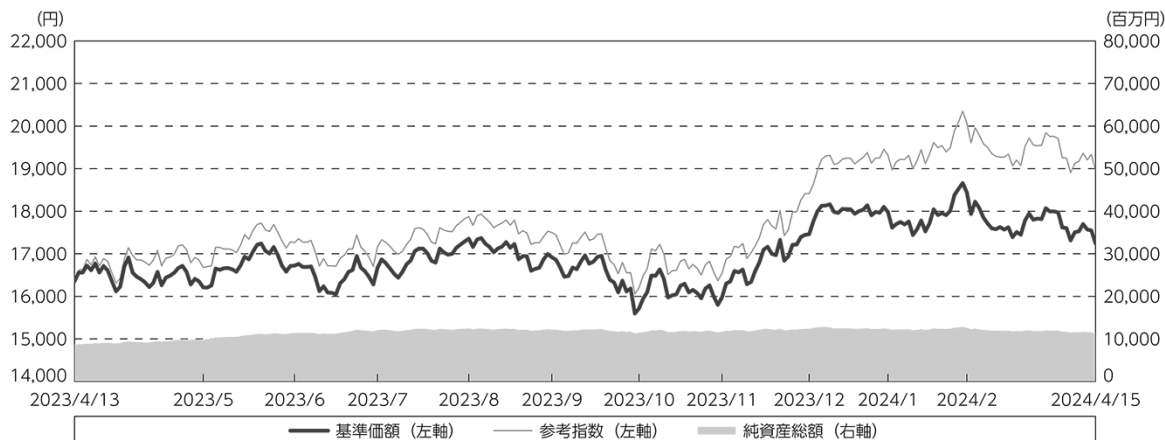
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2017年1月18日)を10,000として指数化したものです。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、5.4%の上昇となりました。



期首：16,354円

期末：17,242円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 5.4%

(注) 参考指数は、期首(2023年4月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算したものです。

◇主な変動要因

【当期前半】

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

下落↓・実質的に組入れているモデルナ(米国、医薬品・バイオテクノロジー)やイルミナ(米国、医薬品・バイオテクノロジー)などのバイオ医薬品関連企業の株価が下落したこと

【当期後半】

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

上昇↑・実質的に組入れているブループリント・メディソン(米国、医薬品・バイオテクノロジー)やメドペー
ス・ホールディングス(米国、医薬品・バイオテクノロジー)などのバイオ医薬品関連企業の株価が
上昇したこと

- ・ バイオ医薬品関連株式市場は、期首から2023年7月にかけては下落しました。世界の株式市場が米国やユーロ圏などでのインフレ率の鈍化や中国経済回復への期待、米国債務上限問題の解決などを受けて、景気敏感なセクターを中心に上昇するなか、相対的にディフェンシブなセクターとみなされるバイオ医薬品関連株式は軟調な推移となりました。その後は、ユーロ圏や中国の景気の先行き不透明感や、米国国債増発および堅調な米景気を受けて高い金利水準が長期化することへの懸念などから、10月にかけて、バイオ医薬品関連株式市場は下落しました。その後は、米国や欧州でのインフレの沈静化に進展がみられたことや、主要中央銀行による利上げ停止観測が高まったこと、堅調な米景気指標などを背景に米国経済のソフトランディング期待が高まったことなどを材料に2024年2月にかけて上昇しました。3月から期末にかけては、堅調な米景気指標などを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利下げ観測が後退し米長期金利が上昇したことや、中東情勢の悪化など地政学リスクへの警戒感が高まったことなどから、バイオ医薬品関連株式市場は下落しました。
- ・ 為替市場は、期首から2023年6月にかけては、日本銀行の総裁に就任した植田氏が現状の金融政策維持の方針を示した一方、欧米の中央銀行は金融引き締め姿勢を維持するとの見方が強まったことなどから、円安・米ドル高となりました。7月前半は、日本銀行が長短金利操作（イールドカーブコントロール）政策の運用を柔軟化すると観測報道などを受けて円高・米ドル安が進行しました。11月にかけては、米大手格付会社による米国国債の格下げや米国国債の増発懸念、根強いインフレ圧力を受けてFRBによる高金利政策が長期化すると観測などにより米長期金利が上昇したことから、円安・米ドル高となりました。11月下旬以降は、米国のインフレ圧力鈍化や米労働市場の需給緩和の兆しなどを背景に、FRBの早期利下げ期待が高まったほか、日本銀行の金融緩和政策の修正観測などを受けて、2023年の年末にかけて円高・米ドル安となりました。2024年の年初から2月にかけては、堅調な米景気指標や、FRB高官による市場の利下げ織り込みへのけん制ともとれる発言を受けて、早期利下げ観測が後退したことなどから、円安・米ドル高となりました。3月上旬には、日本銀行が3月金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する可能性が意識され円高・米ドル安が進行しました。その後期末にかけては、日本銀行はマイナス金利政策を解除しましたが緩和的な金融政策を維持する方針を示した一方、米国ではインフレ指標の高止まりなどを背景にFRBによる早期利下げ観測が後退したことなどから、円安・米ドル高となりました。

組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質的な外貨建資産につきましては原則として為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンドの組入状況>

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。期末におけるESG（環境・社会・ガバナンス）を主要な要素として選定した銘柄の組入比率は、76.5%となりました。

当社および運用指図の権限の委託先におけるステュワードシップ活動の詳細につきましては以下のリンク先をご覧ください。

https://www.pictet.co.jp/content/dam/pamweb/jp/ja/company/sustainability/responsible/Responsible_Investment_Report_2023J.pdf

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	85.9%
英国	5.0%
フランス	3.6%
中国	1.4%
ドイツ	1.4%
スペイン	1.0%
オランダ	0.5%

【期末】

国・地域名	組入比率
米国	88.1%
英国	4.1%
フランス	3.3%
デンマーク	1.4%
中国	0.9%
スペイン	0.9%
スイス	0.7%
ドイツ	0.6%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	77.9%
医薬品	14.6%
ライフサイエンス関連	5.8%
ヘルスケア・サービス	0.4%

【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	78.9%
医薬品	14.7%
ライフサイエンス関連	5.6%
ヘルスケア・サービス	0.7%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.1%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.3%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	6.5%
パーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	6.0%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	5.3%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	5.0%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	4.7%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	3.6%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	3.4%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	2.9%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
パーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	8.7%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.5%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	7.4%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	4.3%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	4.3%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	3.8%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	3.3%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	3.2%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	2.6%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- パーテックス・ファーマシューティカルズ : 治療法の限られた、または治療法のない疾患に向けた治療薬の発見・開発および商品化に注力。嚢胞性線維症治療薬のバイオニア。2012年に米食品医薬品局 (FDA) から承認を受けたカリデコ以降、オルカンビ、シムデコ、トリカフタといった嚢胞性線維症 (CF) 治療薬を次々と上市することで、CF患者の生活の質を大きく改善し、更に治療や通院にかかる費用の削減にも貢献。このような革新的技術を有することで、同社は数十億ドル規模のCF市場で存在感を示し、利益を獲得している。
- リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がん、眼病や慢性炎症などの治療薬の研究開発、商品化などを手掛けるバイオ医薬品メーカー。複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のある加齢黄斑変性症 (AMD) の治療で大きな役割を果たしている。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプライン (治療薬候補) の開発に取り組んでいる。同社の革新性の高さが、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場の獲得につながることを繰り返し示してきた。
- ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。エイズ/HIV感染者の治療のバイオニアであり、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供。また、途上国などに向けて安価な治療薬も提供している。エイ

ズ/HIV感染者治療におけるリーダーシップにより、患者や医師から多くの信頼を獲得している。

- アムジェン : 関節リウマチ、骨粗しょう症の治療薬や白血球生成促進剤などが主力のバイオ医薬品企業。バイオシミラー（バイオ後続品）にも取り組む。がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン能力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。
- バイオジェン : 神経系領域におけるリーディングカンパニーで、同社の多発性硬化症治療薬は市場をリード。現在、アルツハイマー病治療薬でも注目を集める。神経系領域におけるリーディングカンパニーである同社は多発性硬化症の治療を長年リードし多くの患者を救ってきた。エーザイと共同で開発したアルツハイマー病治療薬は、病気の進行を遅らせ、医療費コストの削減や患者の生活の質向上を実現することで、同社は数十億ドル規模の新しい市場から利益を獲得することが期待される。

などとなりました。

収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2023年4月14日～ 2024年4月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,242

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(1) 投資環境

FRBによる利下げ転換のタイミングや、ウクライナや中東地域での地政学リスクの高まりなど、様々な懸念材料は払拭されておらず、当面は世界の株式市場の値動きが大きくなる可能性は残されているとみています。また株価が大きく動く場合、規模の小さな中小型の銘柄が多いバイオ医薬品関連企業の株価においてはさらに変動が大きくなる可能性もあります。一方、バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、中長期的には相対的に高い利益成長が期待されます。また、魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて、大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると考えています。企業価値を計る上で、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などの株価に影響を与える要因や可能性などを注視していくことが必要と考えています。

(2) 投資方針

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド受益証券への投資を通じて世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<マザーファンド>

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 4 月14日～2024年 4 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 357	% 2.101	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(188)	(1.106)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(150)	(0.885)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(19)	(0.111)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.002)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(1)	(0.007)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	5	0.028	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.018)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	363	2.138	
期中の平均基準価額は、16,971円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

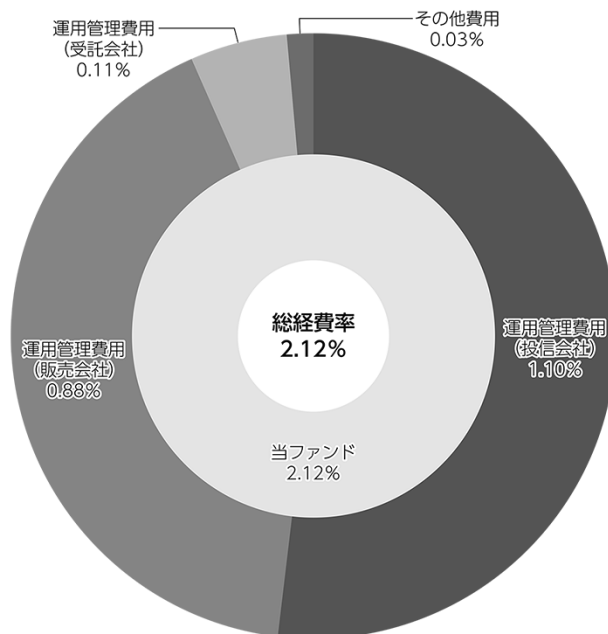
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月14日～2024年4月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	480,333 千口	4,324,630 千円	265,490 千口	2,505,290 千円

(注) 単位未満は切り捨てています。

○株式売買比率

(2023年4月14日～2024年4月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	218,221,602千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	208,398,354千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.04

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月14日～2024年4月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年4月14日～2024年4月15日)

該当事項はございません。

○特定資産の価格等の調査

(2023年4月14日～2024年4月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年4月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド		976,924	1,191,767	11,285,795

(注) 単位未満は切り捨てています。

○投資信託財産の構成

(2024年4月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド	11,285,795	98.1
コール・ローン等、その他	217,787	1.9
投資信託財産総額	11,503,582	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(206,549,216千円)の投資信託財産総額(207,228,912千円)に対する比率は99.7%です。

(注) ピクテ・バイオ医薬品マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=153.46円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,503,582,298
コール・ローン等	189,966,921
ビクテ・バイオ医薬品マザーファンド(評価額)	11,285,795,325
未収入金	27,820,000
未収利息	52
(B) 負債	163,457,073
未払解約金	35,628,878
未払信託報酬	127,539,609
その他未払費用	288,586
(C) 純資産総額(A－B)	11,340,125,225
元本	6,576,924,880
次期繰越損益金	4,763,200,345
(D) 受益権総口数	6,576,924,880口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,242円

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額	5,277,995,397円
期中追加設定元本額	3,766,005,450円
期中一部解約元本額	2,467,075,967円
(注) 1口当たり純資産額	1.7242円

○損益の状況 (2023年4月14日～2024年4月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 47,190
受取利息	437
支払利息	△ 47,627
(B) 有価証券売買損益	691,428,555
売買益	880,955,027
売買損	△ 189,526,472
(C) 信託報酬等	△ 243,732,885
(D) 当期損益金(A+B+C)	447,648,480
(E) 前期繰越損益金	300,438,168
(F) 追加信託差損益金	4,015,113,697
(配当等相当額)	(1,857,342,230)
(売買損益相当額)	(2,157,771,467)
(G) 計(D+E+F)	4,763,200,345
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	4,763,200,345
追加信託差損益金	4,015,113,697
(配当等相当額)	(1,859,811,305)
(売買損益相当額)	(2,155,302,392)
分配準備積立金	748,086,648

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(58,659,507円)、費用控除後の有価証券等損益額(388,988,973円)、信託約款に規定する収益調整金(4,015,113,697円)および分配準備積立金(300,438,168円)より分配対象収益は4,763,200,345円(10,000口当たり7,242円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 主要投資対象であるマザーファンド受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
当該費用は、ファンドに係る信託報酬のうち委託者が受ける報酬から支弁しております。

○お知らせ

デリバティブ取引はヘッジ目的のみ行われていることを明確化するためおよび信託金の限度額を3,000億円から5,000億円に引き上げるため所要の約款変更を行いました。

ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド

運用状況のご報告

第24期（決算日：2024年4月15日）
（計算期間：2023年4月14日～2024年4月15日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ・バイオ医薬品マザーファンド」は、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）円コース」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース」、「iTrustバイオ」、「ピクテ・バイオ医薬品ファンドⅡ（適格機関投資家専用）」および「ピクテ・バイオ医薬品ファンド（1年決算型）為替ヘッジなしコース」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界主要市場のバイオ医薬品関連企業の株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長を目指します。
主要投資対象	世界のバイオ医薬品関連企業の株式
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数			株組入比率	純資産額
	円	騰落率	参考指数	騰落率	中率		
20期(2020年4月13日)	54,327	△ 0.6	37,162	△ 0.8		99.5	76,832
21期(2021年4月13日)	68,681	26.4	48,408	30.3		99.7	66,765
22期(2022年4月13日)	78,594	14.4	50,180	3.7		99.7	60,952
23期(2023年4月13日)	87,939	11.9	53,269	6.2		98.7	157,955
24期(2024年4月15日)	94,698	7.7	61,768	16.0		99.9	206,728

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

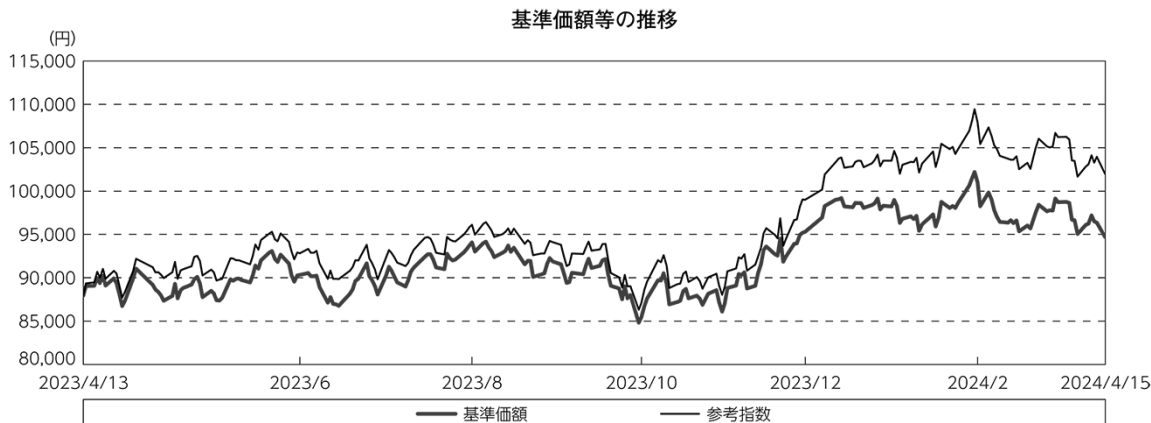
年月日	基準価額		参考指数		
	円	騰落率	参考指数	騰落率	株組入比率
(期首) 2023年4月13日	87,939	—	53,269	—	98.7
4月末	87,313	△ 0.7	53,498	0.4	97.5
5月末	87,407	△ 0.6	54,321	2.0	99.8
6月末	90,319	2.7	56,234	5.6	99.1
7月末	90,210	2.6	55,910	5.0	99.8
8月末	94,075	7.0	58,218	9.3	99.5
9月末	91,868	4.5	57,006	7.0	98.9
10月末	85,455	△ 2.8	52,758	△ 1.0	98.9
11月末	87,038	△ 1.0	53,866	1.1	99.3
12月末	95,296	8.4	59,978	12.6	99.6
2024年1月末	98,319	11.8	62,915	18.1	99.6
2月末	100,998	14.9	65,374	22.7	99.5
3月末	98,733	12.3	64,355	20.8	99.6
(期末) 2024年4月15日	94,698	7.7	61,768	16.0	99.9

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数を委託者が円換算し、設定日(2000年4月14日)を10,000として指数化したものです。

基準価額等の推移

当期の基準価額は、7.7%の上昇となりました。



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

【当期中前半】

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

下落↓・組入れているモデルナ（米国、医薬品・バイオテクノロジー）やイルミナ（米国、医薬品・バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が下落したこと

【当期中後半】

上昇↑・円に対して米ドルが上昇したこと

上昇↑・組入れているブループリント・メディスン（米国、医薬品・バイオテクノロジー）やメドペース・ホールディングス（米国、医薬品・バイオテクノロジー）などのバイオ医薬品関連企業の株価が上昇したこと

投資環境

- ・バイオ医薬品関連株式市場は、期首から2023年7月にかけては下落しました。世界の株式市場が米国やユーロ圏などでのインフレ率の鈍化や中国経済回復への期待、米国債務上限問題の解決などを受けて、景気敏感なセクターを中心に上昇するなか、相対的にディフェンシブなセクターとみなされるバイオ医薬品関連株式は軟調な推移となりました。その後は、ユーロ圏や中国の景気の先行き不透明感や、米国国債増発および堅調な米景気を受けて高い金利水準が長期化することへの懸念などから、10月にかけて、バイオ医薬品関連株式市場は下落しました。その後は、米国や欧州でのインフレの沈静化に進展がみられたことや、主要中央銀行による利上げ停止観測が高まったこと、堅調な米景気指標などを背景に米国経済のソフトランディング期待が高まったことなどを材料に2024年2月にかけて上昇しました。3月から期末にかけては、堅調な米

景気指標などを背景に米連邦準備制度理事会（FRB）による早期利下げ観測が後退し米長期金利が上昇したことや、中東情勢の悪化など地政学リスクへの警戒感が高まったことなどから、バイオ医薬品関連株式市場は下落しました。

- ・為替市場は、期首から2023年6月にかけては、日本銀行の総裁に就任した植田氏が現状の金融政策維持の方針を示した一方、欧米の中央銀行は金融引き締め姿勢を維持するとの見方が強まったことなどから、円安・米ドル高となりました。7月前半は、日本銀行が長短金利操作（イールドカーブコントロール）政策の運用を柔軟化すると観測報道などを受けて円高・米ドル安が進行しました。11月にかけては、米大手格付会社による米国国債の格下げや米国国債の増発懸念、根強いインフレ圧力を受けてFRBによる高金利政策が長期化するとの観測などにより米長期金利が上昇したことから、円安・米ドル高となりました。11月下旬以降は、米国のインフレ圧力鈍化や米労働市場の需給緩和の兆しなどを背景に、FRBの早期利下げ期待が高まったほか、日本銀行の金融緩和政策の修正観測などを受けて、2023年の年末にかけて円高・米ドル安となりました。2024年の年初から2月にかけては、堅調な米景気指標や、FRB高官による市場の利下げ織り込みへのけん制もととれる発言を受けて、早期利下げ観測が後退したことなどから、円安・米ドル高となりました。3月上旬には、日本銀行が3月金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除する可能性が意識され円高・米ドル安が進行しました。その後期末にかけては、日本銀行はマイナス金利政策を解除しましたが緩和的な金融政策を維持する方針を示した一方、米国ではインフレ指標の高止まりなどを背景にFRBによる早期利下げ観測が後退したことなどから、円安・米ドル高となりました。

組入状況

主に世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいりました。期末におけるESG（環境・社会・ガバナンス）を主要な要素として選定した銘柄の組入比率は、76.5%となりました。

当社および運用指図の権限の委託先におけるステュワードシップ活動の詳細につきましては以下のリンク先をご覧ください。

https://www.pictet.co.jp/content/dam/pamweb/jp/ja/company/sustainability/responsible/Responsible_Investment_Report_2023J.pdf

◇国・地域別組入比率

【期首】

国・地域名	組入比率
米国	85.9%
英国	5.0%
フランス	3.6%
中国	1.4%
ドイツ	1.4%
スペイン	1.0%
オランダ	0.5%

【期末】

国・地域名	組入比率
米国	88.1%
英国	4.1%
フランス	3.3%
デンマーク	1.4%
中国	0.9%
スペイン	0.9%
スイス	0.7%
ドイツ	0.6%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	77.9%
医薬品	14.6%
ライフサイエンス関連	5.8%
ヘルスケア・サービス	0.4%

【期末】

業種名	組入比率
バイオテクノロジー	78.9%
医薬品	14.7%
ライフサイエンス関連	5.6%
ヘルスケア・サービス	0.7%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	8.1%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.3%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	6.5%
パーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	6.0%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	5.3%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	5.0%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	4.7%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	3.6%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	3.4%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	2.9%

【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
パーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	8.7%
リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	8.5%
ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.5%
アムジェン	米国	バイオテクノロジー	7.4%
バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	4.3%
モデルナ	米国	バイオテクノロジー	4.3%
アストラゼネカ (ADR)	英国	医薬品	3.8%
サノフィ (ADR)	フランス	医薬品	3.3%
インサイト	米国	バイオテクノロジー	3.2%
イルミナ	米国	ライフサイエンス関連	2.6%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

期末の組入上位銘柄は、

- パーテックス・ファーマシューティカルズ : 治療法の限られた、または治療法のない疾患に向けた治療薬の発見・開発および商品化に注力。嚢胞性線維症治療薬のバイオニア。2012年に米食品医薬品局 (FDA) から承認を受けたカリデコ以降、オルカンビ、シムデコ、トリカフタといった嚢胞性線維症 (CF) 治療薬を次々と上市することで、CF患者の生活の質を大きく改善し、更に治療や通院にかかる費用の削減にも貢献。このような革新的技術を有することで、同社は数十億ドル規模のCF市場で存在感を示し、利益を獲得している。
- リジェネロン・ファーマシューティカルズ : がん、眼病や慢性炎症などの治療薬の研究開発、商品化などを手掛けるバイオ医薬品メーカー。複数の疾患領域で治療に変革をもたらした非常に革新的な企業で、特に治療しなければ失明に至る可能性のある加齢黄斑変性症 (AMD) の治療で大きな役割を果たしている。また、有効性の高い皮膚疾患の治療薬を有し、がん領域でも非常に有望なパイプライン (治療薬候補) の開発に取り組んでいる。同社の革新性の高さが、画期的な治療薬を生み出し、大きな市場の獲得につながることを繰り返し示してきた。
- ギリアド・サイエンシズ : HIVやC型肝炎など感染症治療薬の分野に強みを持つ。エイズ/HIV感染者の治療のバイオニアであり、患者が通常の生活を送れるレベルまで病気を抑制する治療薬を提供するだけでなく、感染しないための予防薬も提供。また、途上国などに向けて安価な治療薬も提供している。エイ

ズ／HIV感染者治療におけるリーダーシップにより、患者や医師から多くの信頼を獲得している。

- アムジェン : 関節リウマチ、骨粗しょう症の治療薬や白血球生成促進剤などが主力のバイオ医薬品企業。バイオシミラー（バイオ後続品）にも取り組む。がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン能力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。
- バイオジェン : 神経系領域におけるリーディングカンパニーで、同社の多発性硬化症治療薬は市場をリード。現在、アルツハイマー病治療薬でも注目を集める。神経系領域におけるリーディングカンパニーである同社は多発性硬化症の治療を長年リードし多くの患者を救ってきた。エーザイと共同で開発したアルツハイマー病治療薬は、病気の進行を遅らせ、医療費コストの削減や患者の生活の質向上を実現することで、同社は数十億ドル規模の新しい市場から利益を獲得することが期待される。

などとなりました。

○今後の運用方針

(1) 投資環境

FRBによる利下げ転換のタイミングや、ウクライナや中東地域での地政学リスクの高まりなど、様々な懸念材料は払拭されておらず、当面は世界の株式市場の値動きが大きくなる可能性は残されているとみています。また株価が大きく動く場合、規模の小さな中小型の銘柄が多いバイオ医薬品関連企業の株価においてはさらに変動が大きくなる可能性もあります。一方、バイオ医薬品関連企業は、画期的な治療薬を提供し続けるものと予想され、中長期的には相対的に高い利益成長が期待されます。また、魅力的な新薬候補や高い技術力を求めて、大手医薬品企業がバイオ医薬品関連企業を買収する動きは継続すると考えています。企業価値を計る上で、薬価引き下げの動きや治験結果の発表、決算の内容などの株価に影響を与える要因や可能性などを注視していくことが必要と考えています。

(2) 投資方針

世界のバイオ医薬品関連企業の株式に投資を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年4月14日～2024年4月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.002 (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.007 (0.007)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	22 (17) (5)	0.024 (0.018) (0.005)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合 計	31	0.033	
期中の平均基準価額は、92,252円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月14日～2024年4月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 228,506 (1,400)	千米ドル 887,922 (-)	百株 206,826	千米ドル 620,180

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年4月14日～2024年4月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	218,221,602千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	208,398,354千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.04

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 単位未満は切り捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月14日～2024年4月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○特定資産の価格等の調査

(2023年4月14日～2024年4月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年4月15日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末				業種等
		株数	評価額		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	4,390	6,393	10,958	1,681,719	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	9,472	17,441	5,249	805,628	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AGIOS PHARMACEUTICALS INC	3,499	4,940	14,580	2,237,474	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	1,056	1,715	25,477	3,909,762	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AMGEN INC	3,067	3,726	99,592	15,283,511	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AMICUS THERAPEUTICS INC	12,741	18,028	19,254	2,954,846	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
APELLIS PHARMACEUTICALS INC	—	1,750	9,065	1,391,243	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	—	1,323	19,330	2,966,381	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	7,583	7,388	50,932	7,816,061	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AXSOME THERAPEUTICS INC	—	780	5,395	828,056	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BEIGENE LTD-ADR	525	821	11,603	1,780,616	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	2,849	2,868	26,452	4,059,382	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BOGEN INC	2,213	2,954	58,551	8,985,341	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BIONTECH SE-ADR	1,272	916	7,930	1,216,944	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BLUEBIRD BIO INC	15,753	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BLUEPRINT MEDICINES CORP	2,879	3,243	28,303	4,343,476	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BRIDGEBIO PHARMA INC	7,286	4,222	11,329	1,738,679	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COHERUS BIOSCIENCES INC	4,229	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CYTOKINETICS INC	—	1,248	8,934	1,371,107	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EDITAS MEDICINE INC	5,238	11,038	6,854	1,051,934	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ENANTA PHARMACEUTICALS INC	1,367	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EXELIXIS INC	5,043	9,960	22,720	3,486,746	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FIBROGEN INC	5,447	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GILEAD SCIENCES INC	11,629	14,915	101,527	15,580,346	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GRIFOLS SA-ADR	15,907	17,649	11,578	1,776,809	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GUARDANT HEALTH INC	1,930	5,517	10,074	1,546,049	ヘルスケア機器・サービス	
HALOZYME THERAPEUTICS INC	1,044	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ILLUMINA INC	1,767	2,761	35,095	5,385,788	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IMMUNITYBIO INC	12,001	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IMMUNOCORE HOLDINGS PLC-ADR	558	733	4,147	636,430	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INCYTE CORP	4,613	7,899	42,540	6,528,236	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTELLIA THERAPEUTICS INC	689	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTERCEPT PHARMACEUTICALS INC	3,524	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IONIS PHARMACEUTICALS INC	5,571	7,846	32,751	5,026,083	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC	4,745	8,737	10,799	1,657,268	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LIGAND PHARMACEUTICALS	440	611	4,973	763,238	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MADRIGAL PHARMACEUTICALS INC	517	913	21,616	3,317,343	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MEDPACE HOLDINGS INC	541	881	34,836	5,346,029	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MODERNA INC	3,804	5,564	58,506	8,978,458	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MYRIAD GENETICS INC	4,368	5,952	11,637	1,785,817	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NEKTAR THERAPEUTICS	18,461	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	990	1,187	15,990	2,453,835	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PTC THERAPEUTICS INC	2,552	3,981	10,518	1,614,126	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROMETHEUS BIOSCIENCES INC	279	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROVENTION BIO INC	3,852	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,060	1,266	114,606	17,587,512	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SANOFI-ADR	7,570	9,553	43,880	6,733,938	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	2,151	2,109	25,914	3,976,859	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SEAGEN INC	1,560	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
SUPERNUS PHARMACEUTICALS INC	3,048	4,867	14,720	2,258,942	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SYNEOS HEALTH INC	2,491	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TRAVERE THERAPEUTICS INC	7,811	10,948	6,974	1,070,289	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ULTRAGENYX PHARMACEUTICAL INC	1,657	5,042	23,699	3,636,862	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
UNITED THERAPEUTICS CORP	749	504	11,723	1,799,083	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VANDA PHARMACEUTICALS INC	6,189	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	2,168	2,950	117,002	17,955,260	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
VIATRIS INC	17,339	29,363	33,268	5,105,397	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ZAI LAB LTD-ADR	896	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ALKERMES PLC	9,696	12,679	30,963	4,751,656	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HORIZON THERAPEUTICS PLC	2,511	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JAZZ PHARMACEUTICALS PLC	1,062	2,567	28,393	4,357,218	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROIVANT SCIENCES LTD	—	17,974	19,664	3,017,725	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROYALTY PHARMA PLC- CL A	2,307	2,303	6,501	997,758	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
THERAVANCE BIOPHARMA INC	7,321	10,021	9,630	1,477,862	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CRISPR THERAPEUTICS AG	—	1,508	9,154	1,404,886	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
UNIQURE NV	3,196	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
(アメリカ…非上場)						
CONTRA RADIUS HEALTH INC	4,757	4,757	0	0	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
合 計	株 数 ・ 金 額	281,258	304,339	1,345,210	206,436,033	
	銘 柄 数 < 比 率 >	61	50	—	< 99.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) ー印は組入れがありません。

○投資信託財産の構成

(2024年4月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	206,436,033	99.6
コール・ローン等、その他	792,879	0.4
投資信託財産総額	207,228,912	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(206,549,216千円)の投資信託財産総額(207,228,912千円)に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=153.46円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	207,228,912,736
コール・ローン等	792,879,385
株式(評価額)	206,436,033,165
未収利息	186
(B) 負債	500,830,000
未払解約金	500,830,000
(C) 純資産総額(A-B)	206,728,082,736
元本	21,830,263,238
次期繰越損益金	184,897,819,498
(D) 受益権総口数	21,830,263,238口
1万口当たり基準価額(C/D)	94,698円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注) 期首元本額	17,961,973,985円
期中追加設定元本額	8,579,454,771円
期中一部解約元本額	4,711,165,518円
(注) 1口当たり純資産額	9,4698円
(注) 期末における元本の内訳	
ビクテ・バイオ医薬品ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	20,284,389,864円
ビクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)為替ヘッジなし	1,191,767,020円
ビクテ・バイオ医薬品ファンド(1年決算型)円コース	255,721,590円
iTrustバイオ	98,372,940円
ビクテ・バイオ医薬品ファンドII(適格機関投資家専用)	11,824円

○損益の状況 (2023年4月14日～2024年4月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,792,275,938
受取配当金	1,735,185,653
受取利息	41,034,991
その他収益金	17,214,627
支払利息	△ 1,159,333
(B) 有価証券売買損益	14,141,533,459
売買益	52,722,033,967
売買損	△ 38,580,500,508
(C) 保管費用等	△ 50,095,097
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,883,714,300
(E) 前期繰越損益金	139,993,795,071
(F) 追加信託差損益金	68,427,985,229
(G) 解約差損益金	△ 39,407,675,102
(H) 計(D+E+F+G)	184,897,819,498
次期繰越損益金(H)	184,897,819,498

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

デリバティブ取引はヘッジ目的にのみ行われていることを明確化するためおよび信託金の限度額を3,000億円から1兆円に引き上げるため所要の約款変更を行いました。